

2017年 理工学部 第1問

1 次の各問いに答えよ。

(1) α, ω は定数で, $\omega > 0$ とする. 媒介変数 t で表された曲線

$$x = 2 \cos\left(\omega t + \frac{\pi}{6}\right), \quad y = \sin(\omega t + \alpha)$$

について, t を消去して x, y の方程式を求める. $\alpha = \frac{2}{3}\pi$ のとき, 求める方程式は である. また, $-\frac{\pi}{3} < \alpha < \frac{2}{3}\pi$ のとき, $\beta = \sin\left(\alpha - \frac{\pi}{6}\right)$ とおくと, 求める方程式は

$$\text{イ} x^2 - \text{ウ} xy + \text{エ} y^2 = 1$$

である. ただし, , , には β の式を書きなさい.

(2) i を虚数単位とし, 集合 L と M を

$$L = \{z \mid z \text{ は整数 } a, b \text{ を用いて } z = a + bi \text{ と表される複素数}\}$$

$$M = \left\{z \mid z \in L, \frac{5}{z} \in L, |z| \neq 1, \left|\frac{5}{z}\right| \neq 1\right\}$$

で定める. 複素数 $z = a + bi$ に対して, $z \in L$ ならば $|z|^2 = \text{オ}$ は整数である. また, $z \in M$ ならば $|z|^2 = \text{カ}$ であり, 集合 M の要素の個数 $n(M)$ は である. 集合 M の要素 z のうち, 実部が最も大きくかつ虚部が正となる z は である.

(3) 関数 $f(x)$ を $f(x) = \int_0^x e^{t^2} dt$ と定め, $f(x)$ の逆関数 $f^{-1}(x)$ を用いて関数 $g(t)$ を $g(t) = f^{-1}(t)$ と定める. このとき, 関数 $G(x) = \text{ケ}$ を用いて $g''(t) = G(g(t))$ と表すことができる.